



LARK MAX 2

取扱説明書

目次

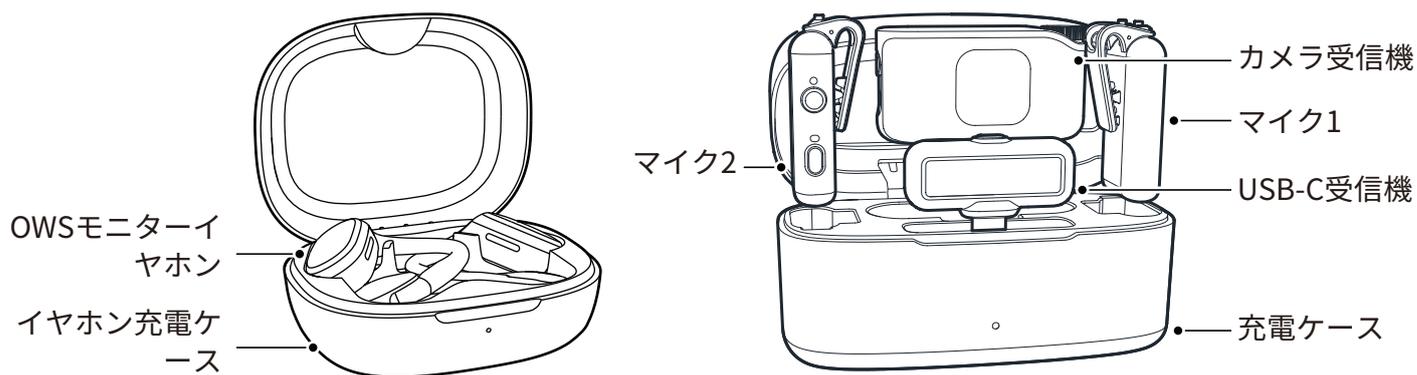
製品概要	1
本体・付属品	1
マイク	3
カメラ受信機：カメラ受信機.....	5
USB-C 受信機：USB-C 受信機.....	6
充電ケース	7
OWS モニターイヤホン	7
イヤホン充電ケース	8
製品の設置と使用.....	9
マイクを装着	9
ファーマーウィンドシールドの取り付け.....	9
アクセサリの取り付け.....	10
ワイヤレスモニタリングデバイスの互換性	11
ワイヤレスモニタリング 1.....	12
ワイヤレスモニタリング 2.....	13
ワイヤレスモニタリングセットアップ	14
推奨設定.....	15
携帯電話（USB-C）との併用.....	16
ペアリング	17
手動ペアリング（カメラ受信機）	18
手動ペアリング（USB-C 受信機）	19
4 マイク & 1 受信機の接続	20
4 マイク & 1 受信機のペアリング	21
USB-C 受信機	22
マイク	23

内部マイク録音.....	23
カメラ受信機：カメラ受信機.....	24
初回起動時.....	24
メインインターフェイスアイコンガイド （2 マイク & 1 受信機）.....	25
カメラ受信機のショートカット機能（2 マイク & 1 受信機）.....	26
メインインターフェイスアイコンガイド （4 マイク & 1 受信機）.....	27
カメラ受信機のショートカット機能（4 マイク & 1 受信機）.....	27
メニュー.....	28
バッテリー状態インジケータ.....	35
マイクのバッテリー.....	35
充電ケースのバッテリー.....	36
OWS モニターイヤホンのバッテリー.....	37
イヤホン充電ケースのバッテリー.....	38
ファームウェアのアップグレード.....	39
OWS モニターイヤホンのアップグレード.....	39
充電ケースのアップグレード.....	40
カメラ受信機のアップグレード.....	41
USB-C 受信機のアップグレード.....	42
マイクのアップグレード状態.....	42
仕様.....	43
アプリ情報.....	45
サポート.....	45

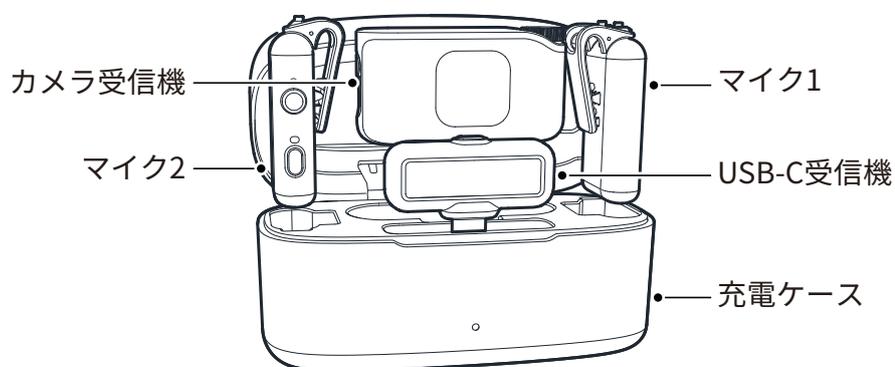
製品概要

本体・付属品

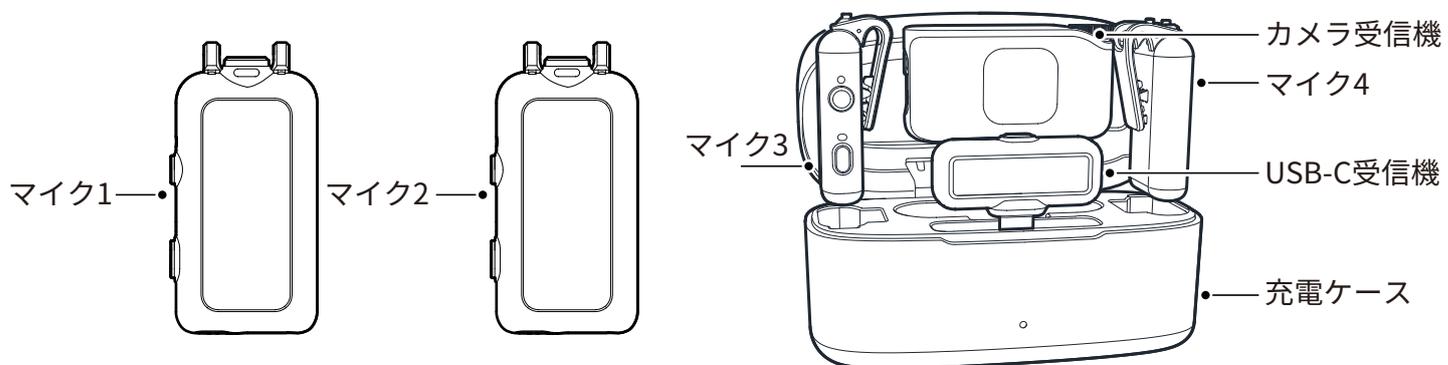
LARK MAX 2アルティメットコンボ



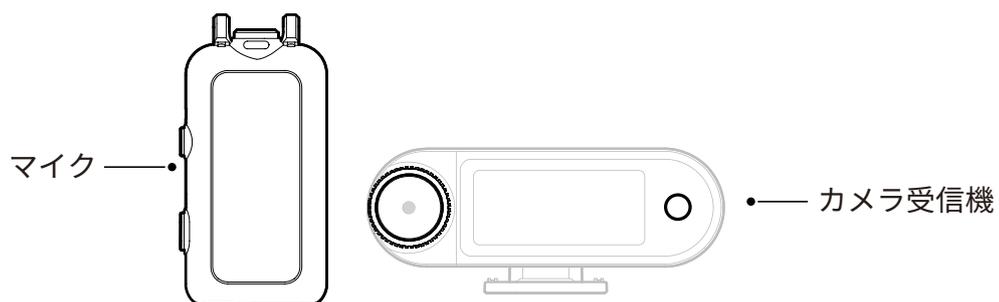
LARK MAX 2コンボ



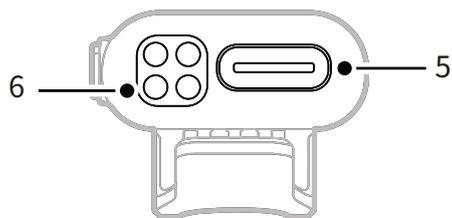
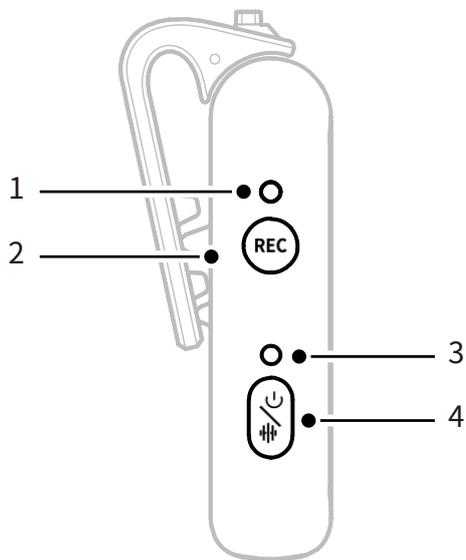
LARK MAX 2コンボ4人用



LARK MAX 2ソロ



マイク



1.REC状態インジケータ

内部録音のオンとオフを表示します。

2.RECボタン

クリックすると、マイク独立内部録音の有効化と無効化が切り替わります。

3.マイク状態インジケータ

マイクのペアリング、ノイズキャンセリング、ミュート、バッテリーの状態を表示します。

4.電源/ノイズキャンセリング/ペアリング/ミュートボタン

- 1回短く押すとノイズキャンセリングのオンとオフが切り替わります。
- 2回短く押すとミュートのオンとオフが切り替わります。

- 3秒間長押しすると、電源のオンとオフが切り替わります。
- マイクがオフのときに6秒間長押しすると、ペアリングされます。

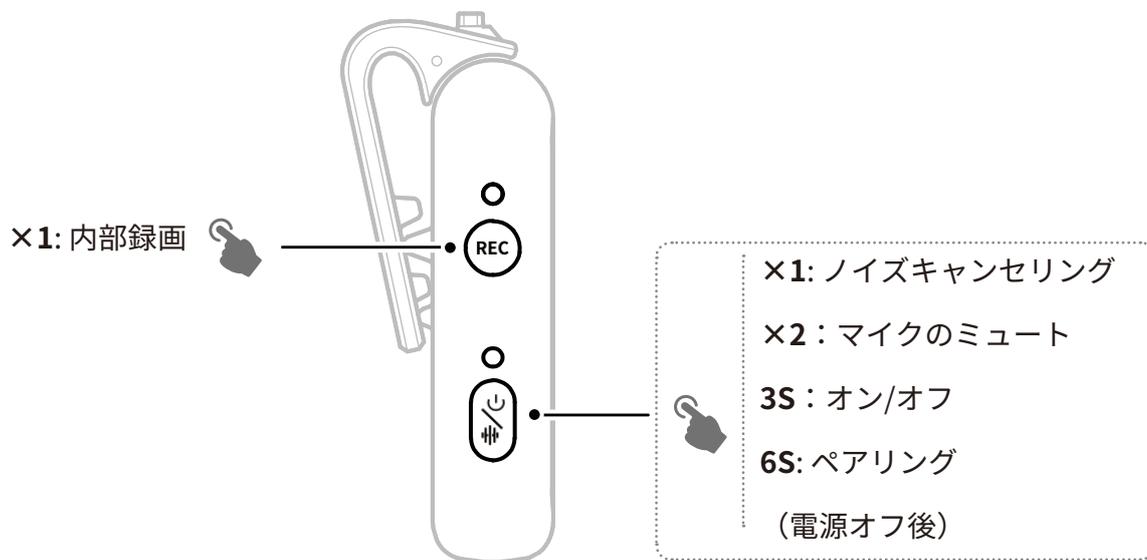
5.USB-Cポート

- 内部録音の音声ファイルをエクスポートします。
- 有線充電用。

6.充電接点

ケースに収納するとマイクが充電されます。

ボタン操作



インジケータの説明

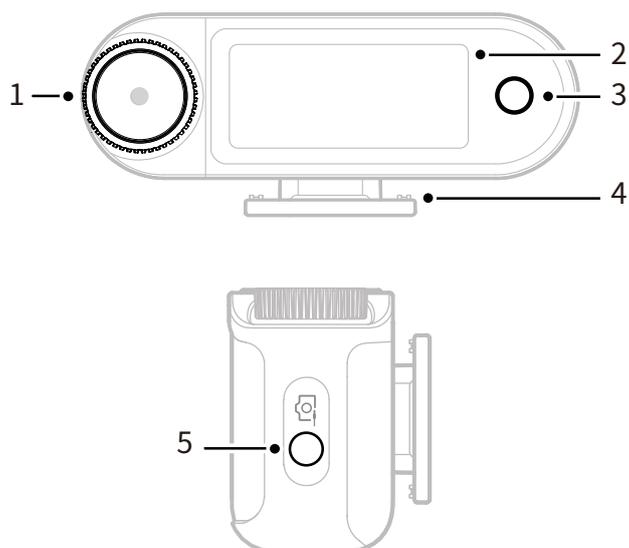
マイク状態インジケータ

● - -	青いライトが点滅	マイクと受信機が接続されていない
● - - - -	青いライトが速い点滅	ペアリング
● —	青いライトが点灯	マイクと受信機が接続されている
● —	緑のライトが点灯	ノイズキャンセリングオン
● —	赤のライトが点灯	ミュート

REC状態インジケータ

● —	赤のライトが点灯	内部録音オン
-----	----------	--------

カメラ受信機：カメラ受信機



1.コントロールノブ

- メインインターフェイスでこれをクリックするとメニューに移動します。
- これを回転すると、メインインターフェイスからカメラ受信機の出カゲインが調整できます。
- これを回転するとメニューとサブメニューのオプションがナビゲートできます。
(*それ以外のインターフェイスでは、ノブをクリックしても反応しません。)

2.AMOLEDタッチスクリーン

- マイクとカメラ受信機の状態と情報を表示します。
- タップして操作を確定します。
[\(*詳細は「カメラ受信機」をご覧ください。\)](#)

3.戻るボタン

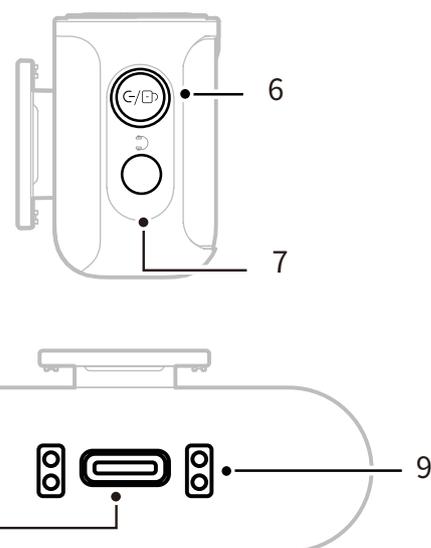
前のメニューに戻ります。

4.コールドシューマウント

カメラのコールドシューマウントまたはホットシューマウントに取り付けます。

5.3.5mm TRS出カジャック

アナログ音声またはタイムコードを出カします。



6.電源/ペアリング/ミュート/ロックボタン

- 1回短く押すとタッチスクリーンのロックとロック解除が切り替わります。
- 2回短く押すとミュートの有効と無効が切り替わります。
- 電源が切れた状態で6秒間長押しすると、ペアリングモードになります。

7.3.5mm TRSヘッドフォンジャック

カメラ受信機の音声をモニターします。

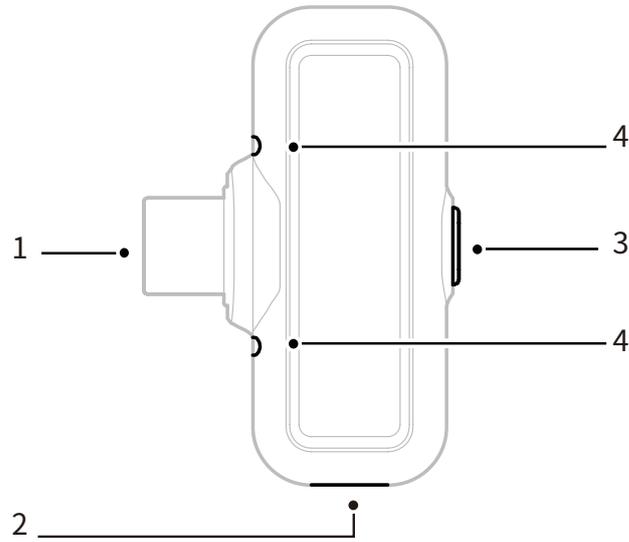
8.USB-Cポート

- コンピューターまたはモバイルデバイスに接続し、デジタル音声 (24ビット/32ビットフロート) またはタイムコードを出カします。
- カメラ受信機を充電します。

9.充電接点

- ケースに収納するとカメラ受信機が充電されます。
- データの同期に対応しています。

USB-C受信機：USB-C受信機



1.USB-Cプラグ

音声を出力し、携帯電話を充電します。

2.USB-C充電ポート

外部電源を通じて携帯電話を充電します。

3.ノイズキャンセリング/ペアリングボタン

- 接続中に1回短く押すと、マイクのノイズキャンセリングの有効と無効が切り替わります。
- 3秒間長押しすると、ペアリングモードになります。

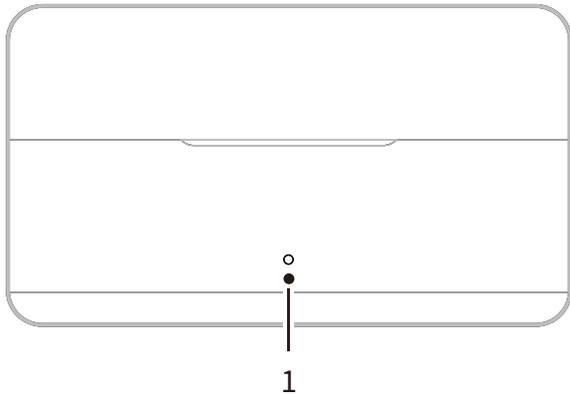
4.ステータスインジケータ

マイクのペアリングとノイズキャンセリングの状態が表示されます。

USB-C受信機インジケータ

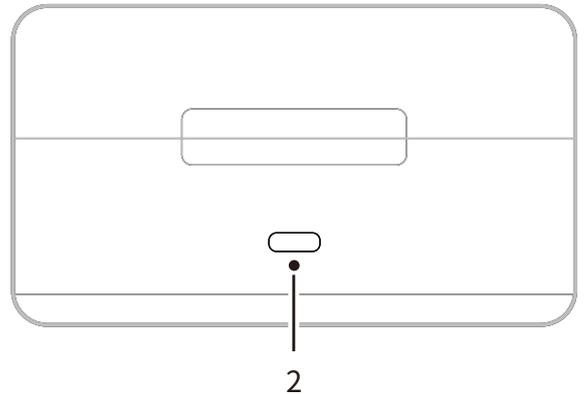
● - -	青いライトが点滅	マイクと受信機が接続されていない
● - - - -	青いライトが速い点滅	ペアリング
● —	青いライトが点灯	マイクと受信機が接続されている
● —	緑のライトが点灯	ノイズキャンセリングオン

充電ケース



1.充電ケースインジケータ

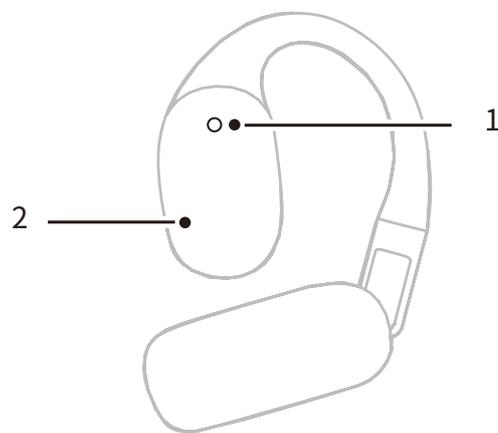
充電ケースのバッテリー残量を表示します。



2.USB-Cポート

デバイスの充電とファームウェアアップデートに対応しています。

OWSモニターイヤホン



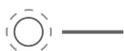
1.インジケータ

イヤホンの2.4GHzまたはBluetoothモードを表示します。

2.タッチボタン

2回短く押すとイヤホンのモニタリングまたはミュートが有効になります。

イヤホンインジケータ



白のライトが点灯

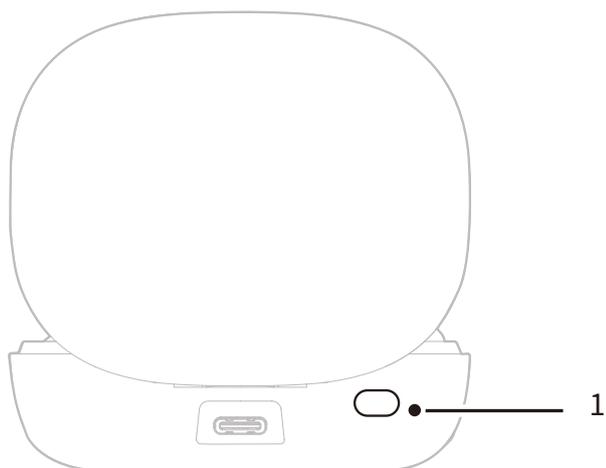
2.4GHzモード



青いライトが点灯

Bluetoothモード

イヤホン充電ケース



1.ボタン

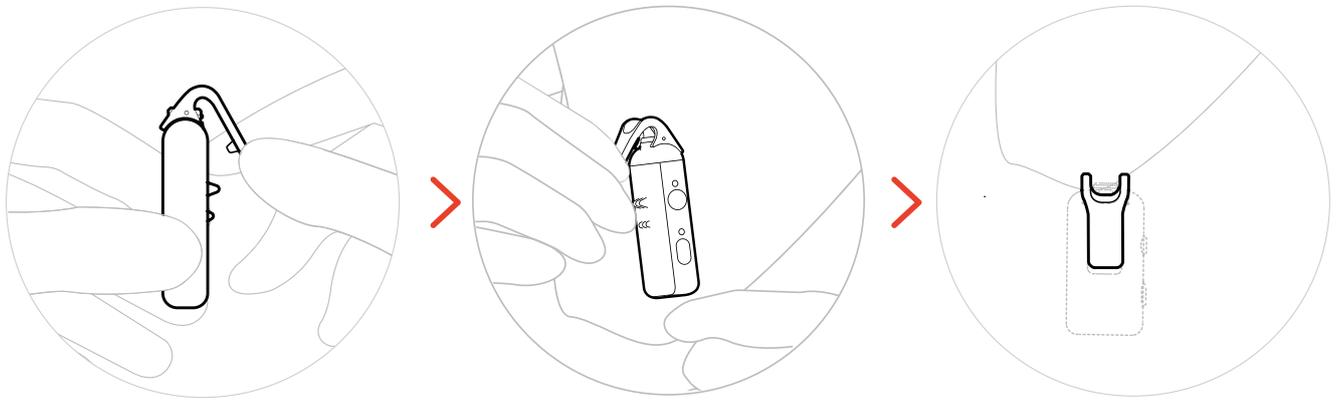
蓋を開きイヤホンをケースに入れた状態で3回短く押すと、2.4GHzモードとBluetoothモードが切り替わります。

2.自動ペアリング

イヤホンとカメラ受信機がペアリングされている場合、充電ケースを開くと自動的に再接続されます。

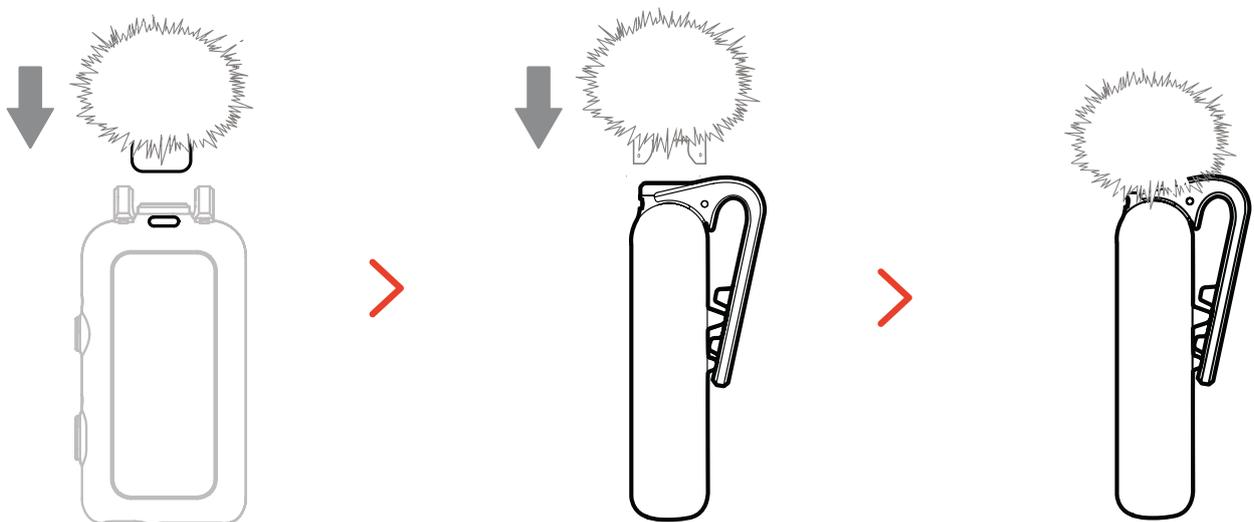
製品の設置と使用

マイクを装着



ファーリーウィンドシールドの取り付け

屋外や風の強い環境では、ファーリーウィンドシールドを使用するようお勧めします。マイクの上部クリップとファーリーウィンドシールドの位置を合わせて押し下げると、固定されます。

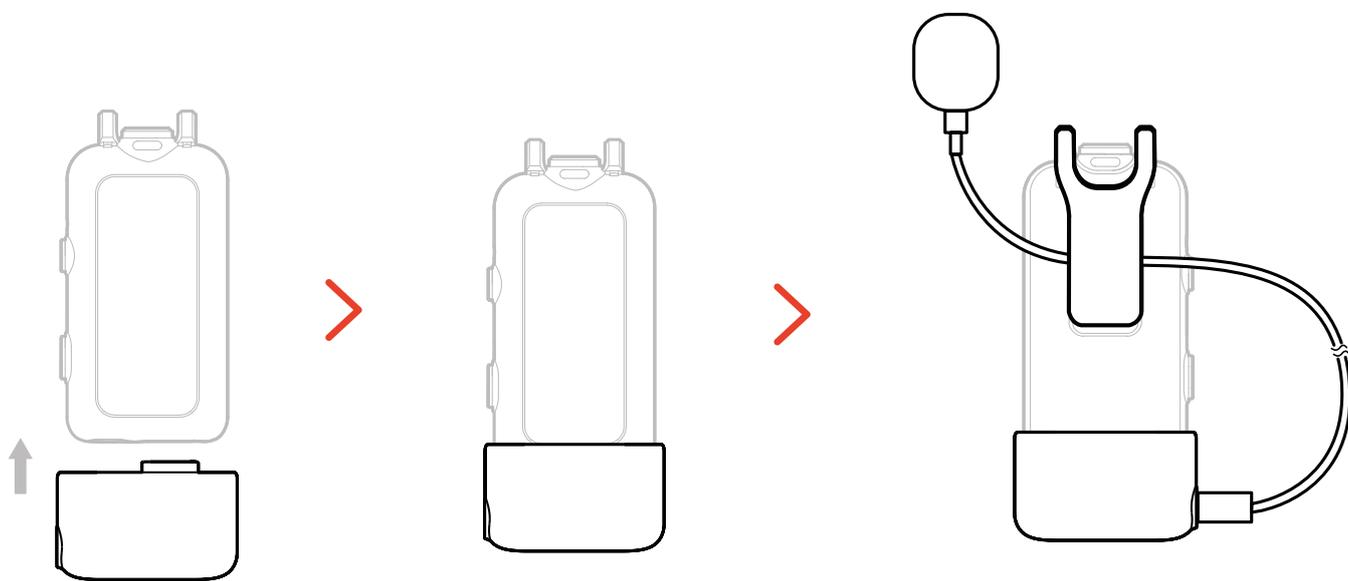


アクセサリの取り付け

マグネチックアクセサリの取り付け



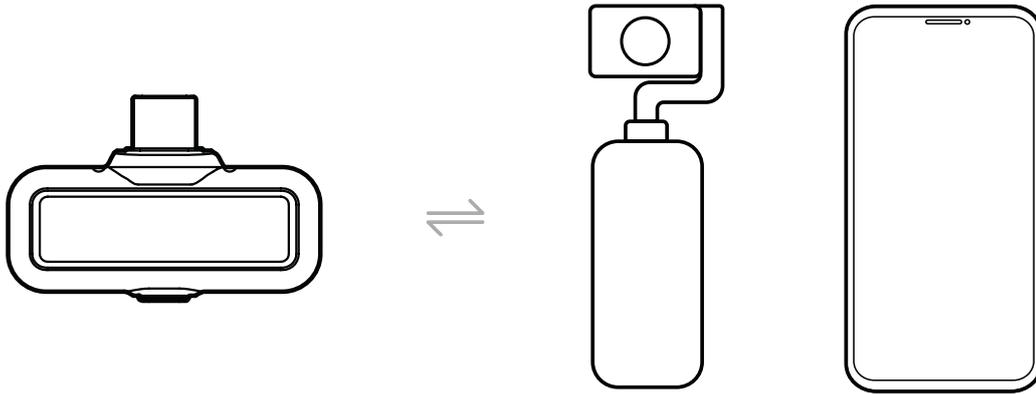
USB-C→3.5mm変換アダプターの取り付け



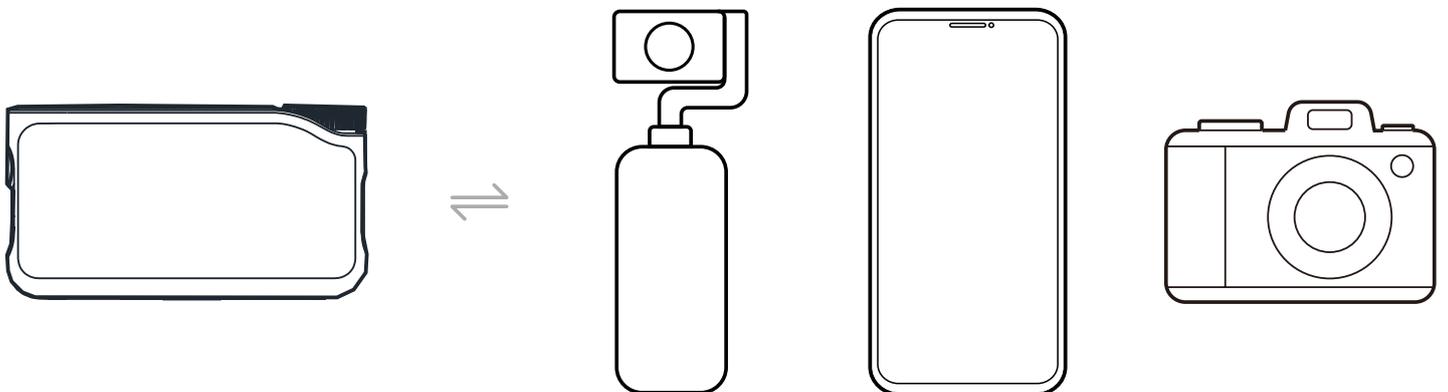
*不意に引っ張って外れないよう、マイク背面クリップの中にアダプタケーブルを固定してください。

ワイヤレスモニタリングデバイスの互換性

携帯電話やアクションカメラにUSB-C受信機を接続すると、ワイヤレスでモニタリングが行えます。



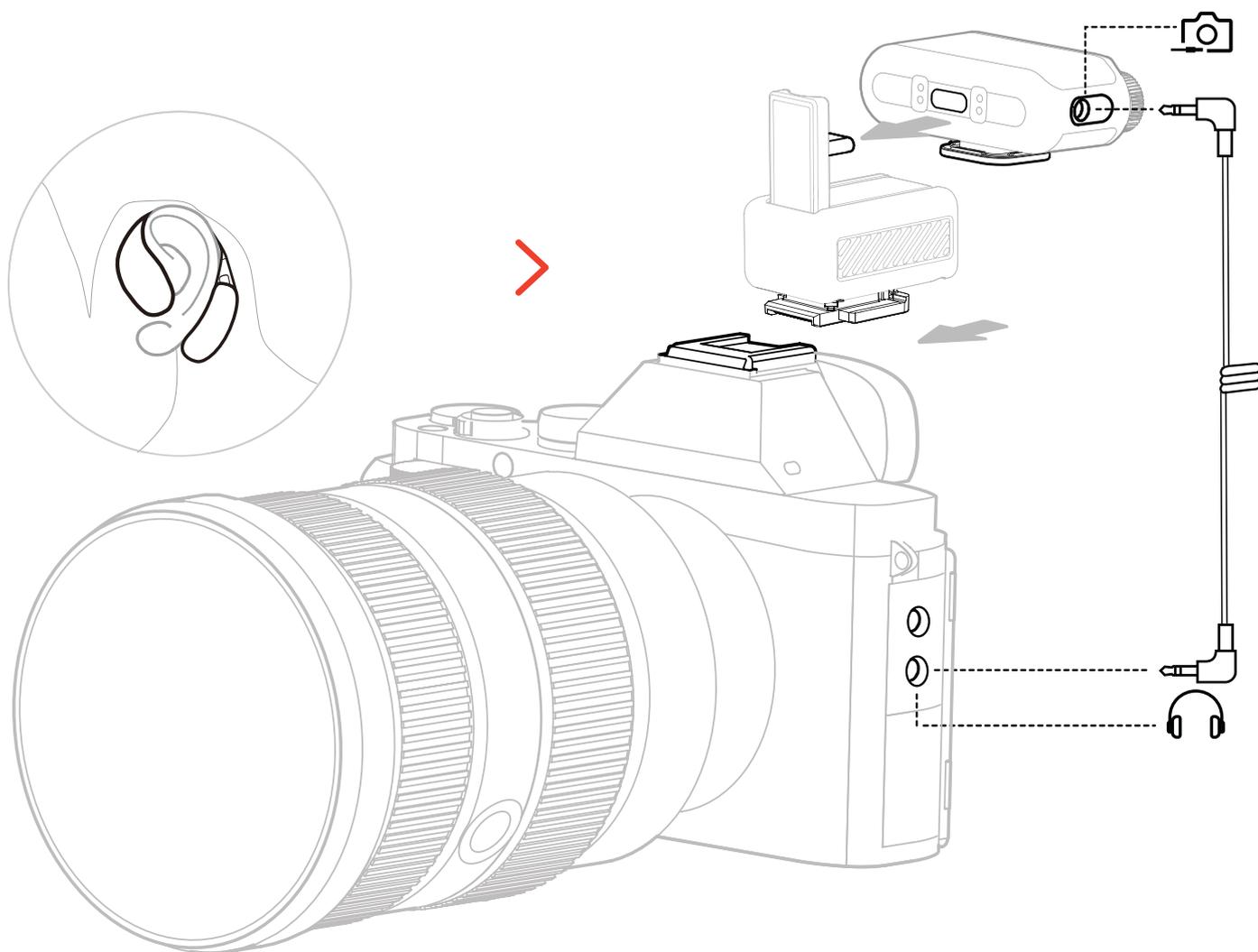
携帯電話やカメラやアクションカメラにカメラ受信機を接続すると、ワイヤレスでモニタリングが行えます。



ワイヤレスモニタリング1

1. イヤホンを取り外し、しっかりと着用します。自動的にイヤホンがカメラ受信機に接続されます。
2. ホットシューアダプターにカメラ受信機を挿入し、カメラのホットシューマウントに固定します。
3. 3.5mmケーブルで、カメラのモニタリング入力に、カメラ受信機の3.5mm TRS出力ジャックを接続します。

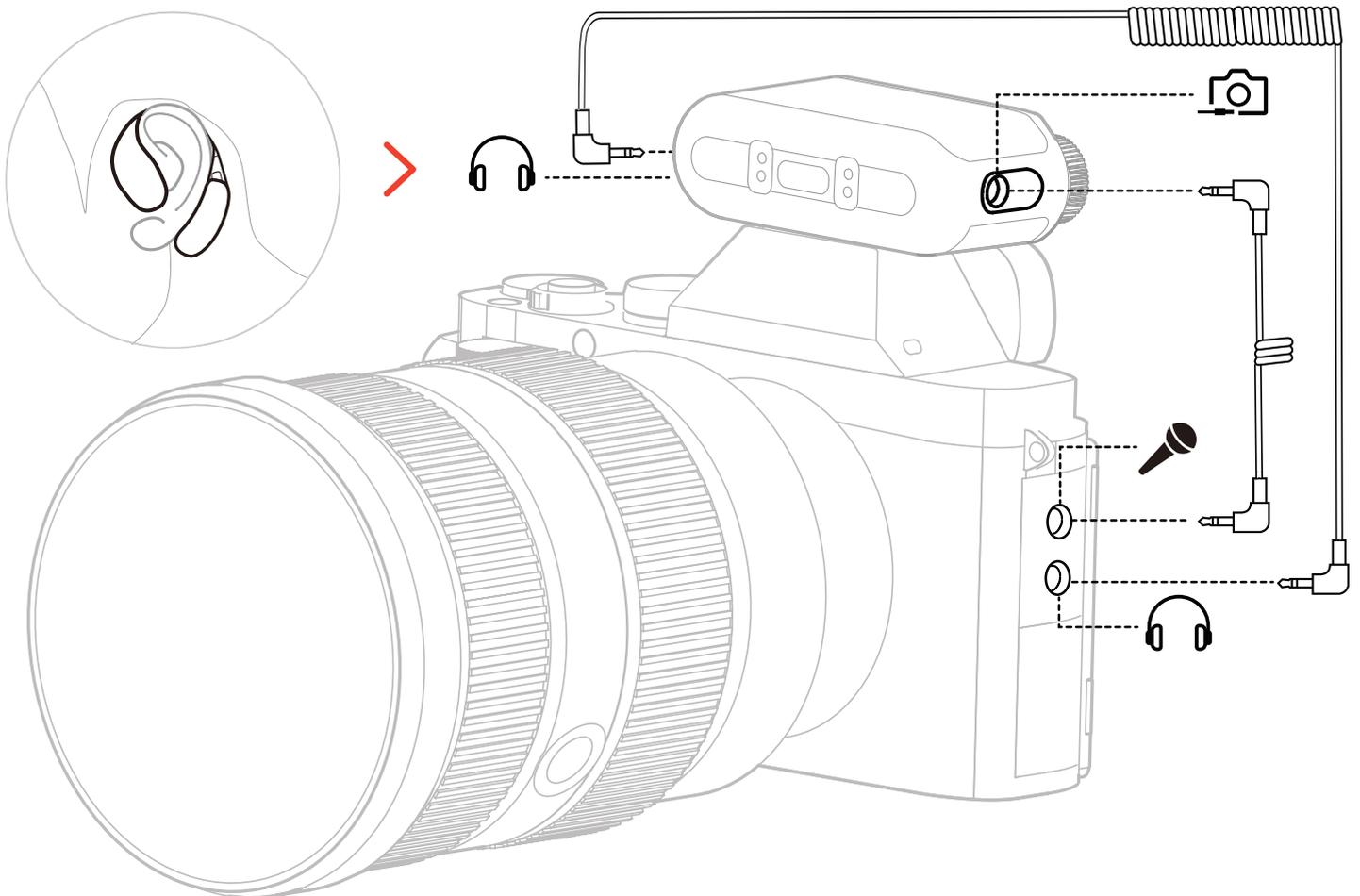
* ホットシューモニタリングを使用している場合、タイムコードモード3は使用できません。



* ホットシューアクセサリ（別売）を使用してカメラに接続します。

ワイヤレスモニタリング2

1. イヤホンを取り外し、しっかりと着用します。
2. カメラのホットシューにカメラ受信機を取り付け、3.5mmケーブル1本で、カメラ受信機の3.5mm TRS出力ジャックとカメラの音声入力ポートを接続します。
3. 別の3.5mmケーブルで、カメラ受信機の3.5mm TRSヘッドフォンジャックとカメラのモニタリング入力を接続します。
4. 「Wireless Monitoring」を選択すると、自動的にOWSモニターイヤホンが接続されます。



* ケーブルを使用してカメラを接続します。

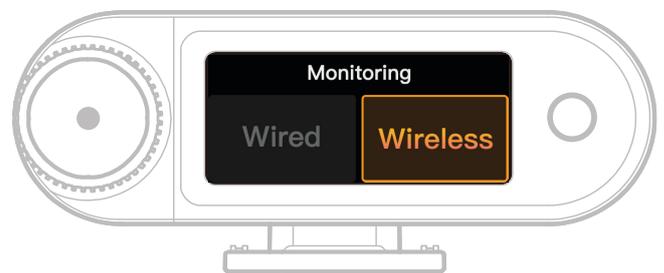
ワイヤレスモニタリングセットアップ

カメラ受信機で「Monitoring → Wireless → Monitoring Source → Camera」と移動し、カメラの音声モニタリングを設定します。

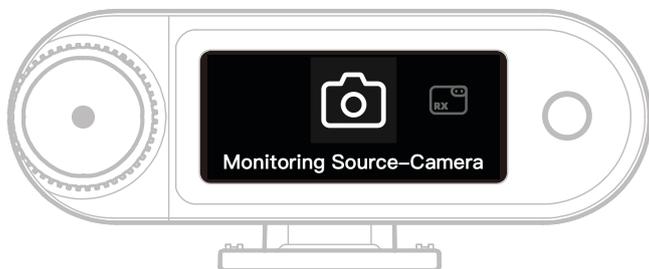
1



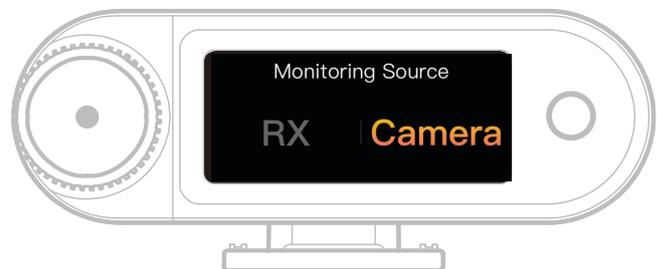
2



3



4



受信機：カメラ受信機の音声をモニターします。

カメラ：カメラが直接キャプチャした音声モニターされます。

推奨設定

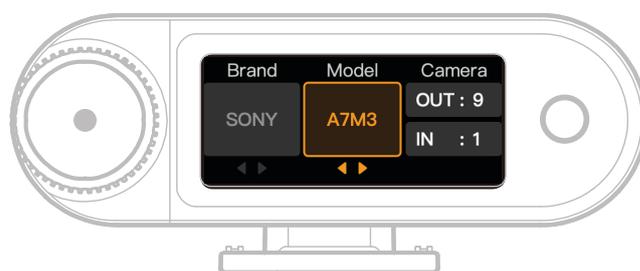
「Recommended Settings → Brand → Model」とナビゲートし、推奨入出力値に従ってカメラの録音とモニターの音量を設定します。

1



「+16」の値は、現在のカメラ受信機出力のゲインレベルを示しています。

2



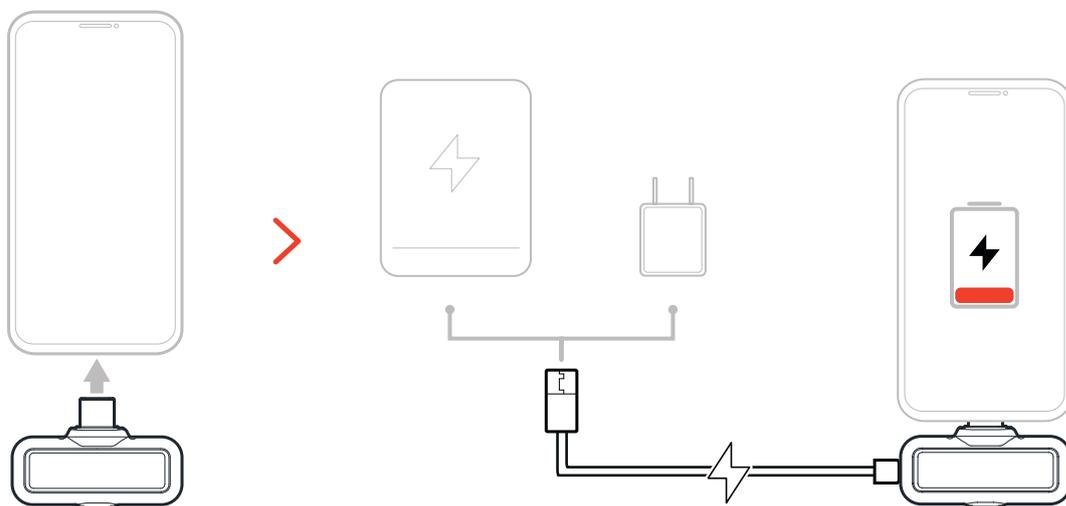
OUT：カメラ出力音量。
IN：カメラ録音音量。



*推奨設定を行った後で、音量が大きすぎたり小さすぎると思われる場合、コントロールノブで、受信機の出カゲインを適宜調整してください。

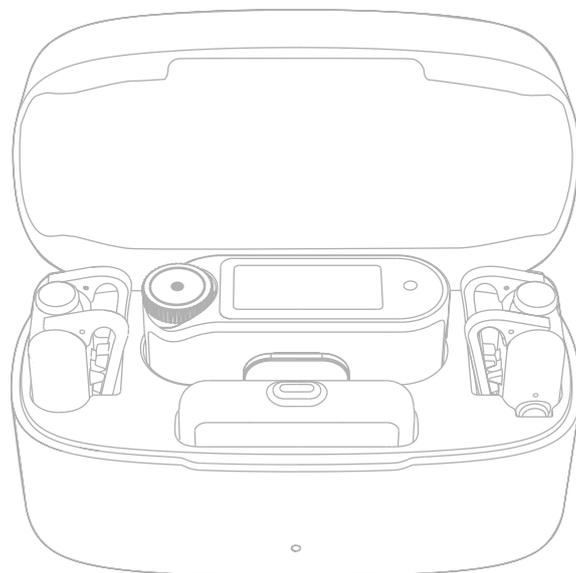
携帯電話（USB-C）との併用

USB-C受信機に接続した場合、携帯電話を充電することができます。



ペアリング

自動ペアリング（充電ケース）



充電ケースにマイクとカメラ受信機を入れると、自動的にペアリングされます。

*USB-C受信機はマイクと自動的にペアリングすることはできません。

手動ペアリング（カメラ受信機）

方法1：ボタンによるペアリング



1. マイクの電源を切った状態で、電源ボタンを6秒間長押しすると、ペアリングモードになります。
2. カメラ受信機の電源を切った状態で、電源ボタンを6秒間長押しすると、ペアリングモードになります。
3. ペアリングが完了すると、カメラ受信機のタッチスクリーンに接続が成功したことが表示され、マイクのインジケータライトが青または緑で点灯します。

*60秒以内にペアリングできなかった場合、自動的にペアリングモードが終了します。

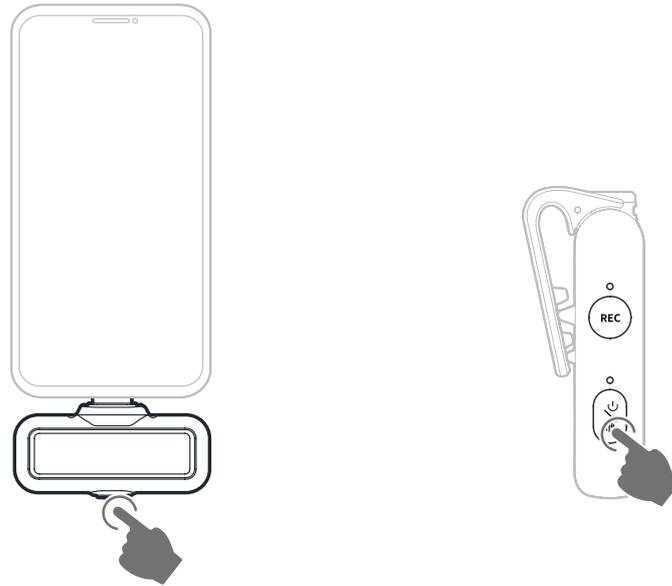
方法2：タッチスクリーン設定によるペアリング



1. カメラ受信機のメニューを開き、「Settings > Pair」と選択してペアリングモードにします。
2. マイクの電源を切った状態で、電源ボタンを6秒間長押しすると、ペアリングモードになります。
3. ペアリングが完了すると、カメラ受信機のタッチスクリーンに接続が成功したことが表示され、マイクのインジケータライトが青または緑で点灯します。

*60秒以内にペアリングできなかった場合、自動的にペアリングモードが終了します。

手動ペアリング（USB-C受信機）

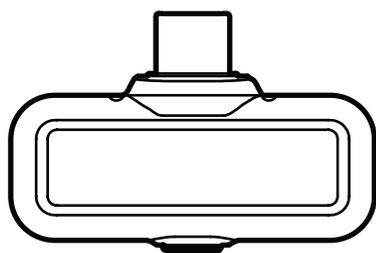


1. 携帯電話にUSB-C受信機を差し込み、ボタンを3秒間長押しすると、ペアリングモードになります。
2. マイクの電源を切った状態で、電源ボタンを6秒間長押しすると、ペアリングモードになります。
3. ペアリングが完了すると、USB-C受信機とマイクのインジケータライトが青または緑で点灯します。

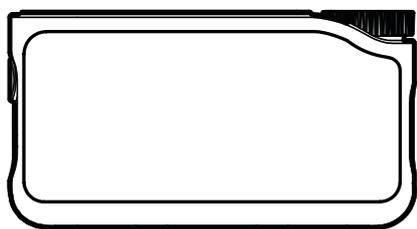
*60秒以内にペアリングできなかった場合、自動的にペアリングモードが終了します。

4マイク & 1受信機の接続

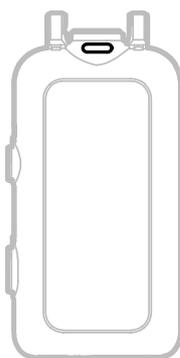
USB-C受信機とカメラ受信機は、それぞれ、同時に、4本までのマイクとペアリングできます。



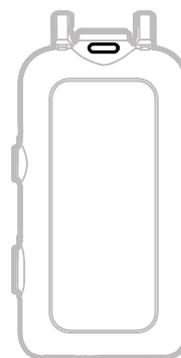
USB-C受信機



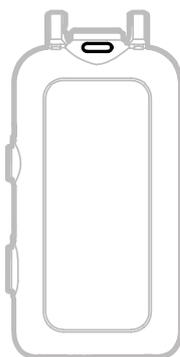
カメラ受信機



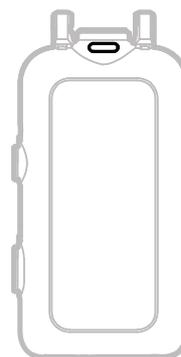
マイク1



マイク2



マイク3



マイク4

* 4マイク & 1受信機モードではワイヤレスモニタリングは使用できません。

4マイク & 1受信機のペアリング

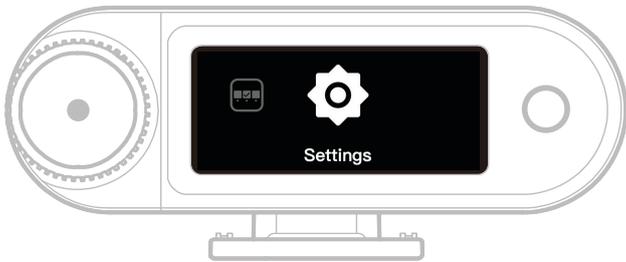
カメラ受信機

- 1.最初に、既存の2マイク & 1受信機デバイスをアップグレードしてください。
- 2.アップグレードしたら、Settingsで、カメラ受信機を、4マイク & 1受信機モードに切り替え、マイクとペアリングします。

ペアリングした後で、システム全体をアップグレードするようお勧めします。

(ペアリング先のマイクは、別途購入できます。)

1



2



3



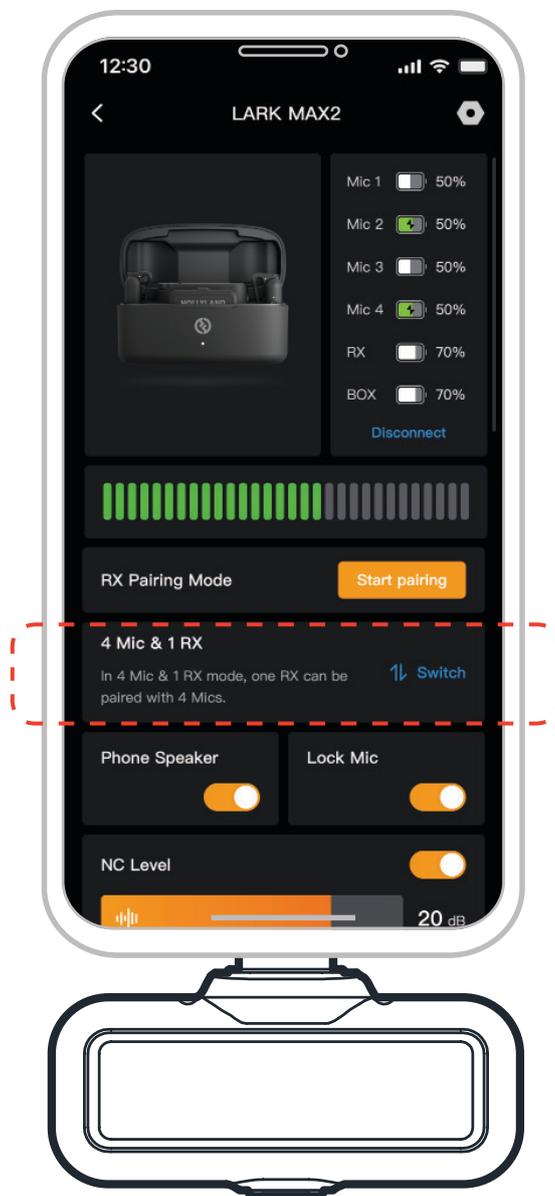
4



カメラ受信機の電源を切り、ペアリングボタンを6秒間長押しすると、マイクがペアリングされます。

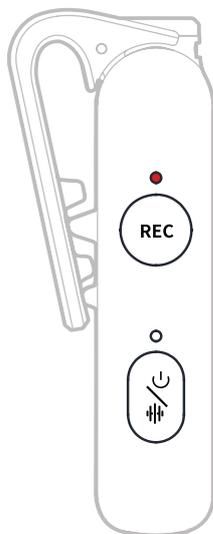
USB-C受信機

LarkSoundアプリで4マイク&1受信機モードに切り替え、マイクとペアリングします。



マイク

内部マイク録音



RECボタンを1回短く押すと、スタンドアロン録音の有効と無効が切り替わります。マイクには8GBのメモリが内蔵されており、48kHz/24ビットで14時間、48kHz/32ビットフロートで10時間の録音ができます。録音ファイルはマイク内部の時計に基づいて名前が付き、底面のUSB-Cポートからマイクをコンピューターに接続すると、エクスポートできます。

タイムコードを有効にすると、エクスポート後にカメラ映像とシームレスに同期できるように、録音ファイルの開始時と終了時にタイムコードが記録されます。

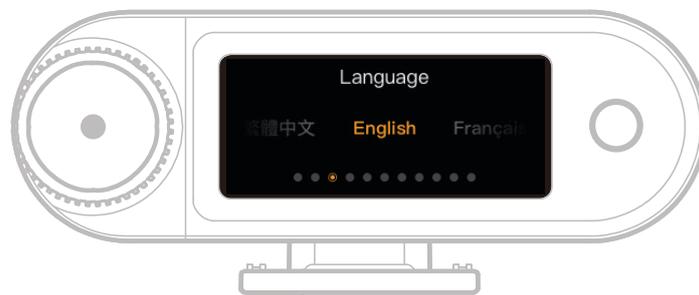


内部マイク録音ストレージの残り容量が30分未満になると、カメラ受信機に、「Mic1 available recording time is only 30 minutes」の警告が表示されます。ストレージが満杯になると、反復録音モードによって、マイクは、最も古いファイルをから順番に上書きして録音を続行します。カメラ受信機でメモリをフォーマットするか、コンピューターに接続すると、録音データが削除できます。

カメラ受信機：カメラ受信機

初回起動時

1. カメラ受信機画面をスワイプするか、ダイヤルを回して言語を選択します。
2. タップすると、言語の選択が確定し、デバイスの時刻同期画面に移動します。
3. USB-Cケーブルでアプリにカメラ受信機を接続すると、自動的に、携帯電話の現在時刻と同期されます。
4. カメラ受信機のメインインターフェイスに進みます。



言語の設定

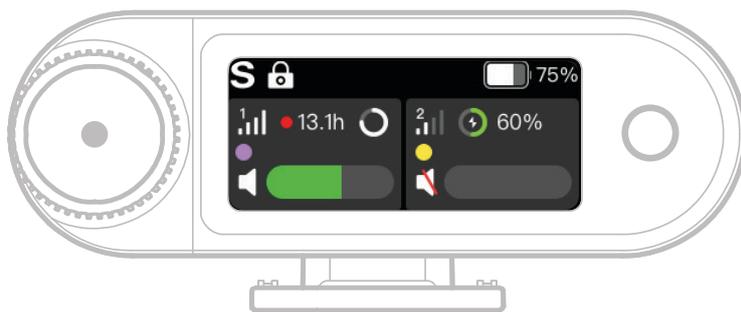


時刻の設定



メインインターフェイスに進む

メインインターフェイスアイコンガイド（2マイク & 1受信機）



受信機ステータスバーの概要



チャンネルモード

現在のチャンネルモードを表示します。初期設定はモノラルですが、ステレオまたはセーフティトラックモードに切り替えることができます。



ノイズキャンセリング

マイクノイズキャンセルの有効/無効が表示されます。



画面ロック

カメラ受信機のロック状態を示します。



32ビットフロート

内部録音のサンプル深度が32ビットフロートに設定されている場合に表示されます。初期設定である24ビット深度では、このアイコンは表示されません。



ダイナミックゲイン

ダイナミックゲインが有効になると表示されます。手動でマイクゲインを調整する場合は、このアイコンは表示されません。



受信機のバッテリー残量

カメラ受信機のバッテリー残量が表示されます。

マイクステータスバーの概要



信号強度

各マイクの信号強度とIDを表示します。



録音状態

各マイクの内部録音の残り時間を表示します。



マイクのバッテリー残量

各マイクのバッテリー残量を表示します。



マイクの識別

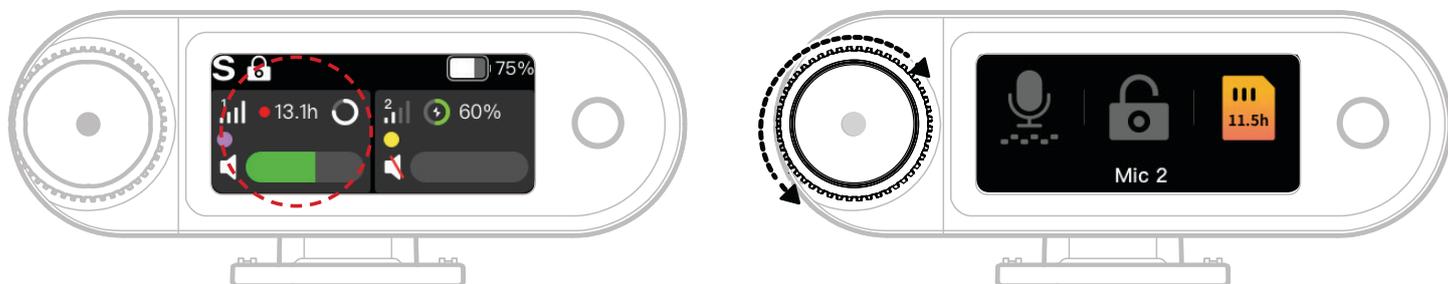
マイク1とマイク2を識別します。



マイクの音声状態

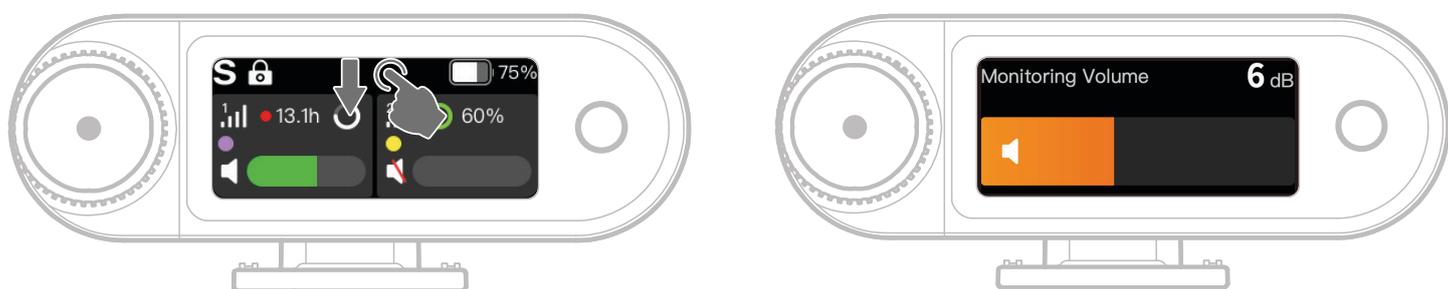
各マイクの録音/ミュート状態を表示します。

カメラ受信機のショートカット機能（2マイク & 1受信機）



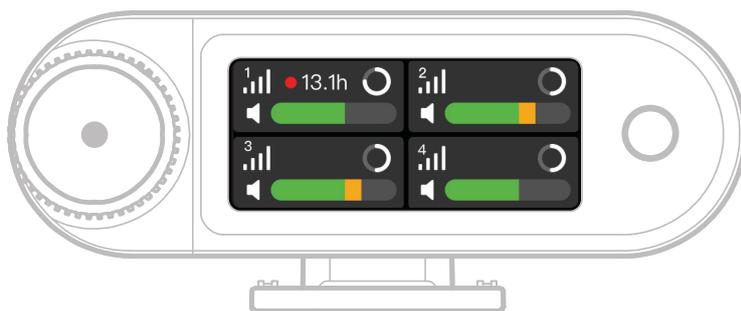
1. カメラ受信機にマイクが接続されているときに、タッチスクリーンの赤枠エリアをタップすると、ショートカットメニューが表示されます。
2. ショートカット機能インターフェイスでは、機能が有効になるとアイコンが点灯し、無効である場合はグレーのままになります。コントロールノブでマイク1とマイク2を切り替えます。

ワイヤレスモニタリングの音量調整



ワイヤレスモニタリングが有効になっているときにタッチスクリーンを下方方向にスワイプすると、ショートカット音量調整インターフェイスが表示されます。

メインインターフェイスアイコンガイド（4マイク & 1受信機）



マイクステータスバーの概要



信号強度

各マイクの信号強度とIDを表示します。



録音状態

各マイクの内部録音の残り時間を表示します。



マイクのバッテリー残量

各マイクのバッテリー残量を表示します。



マイクの識別

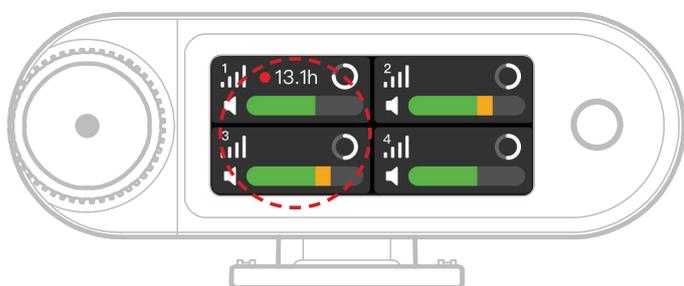
マイク1、マイク2、マイク3、マイク4を識別します。



マイクの音声状態

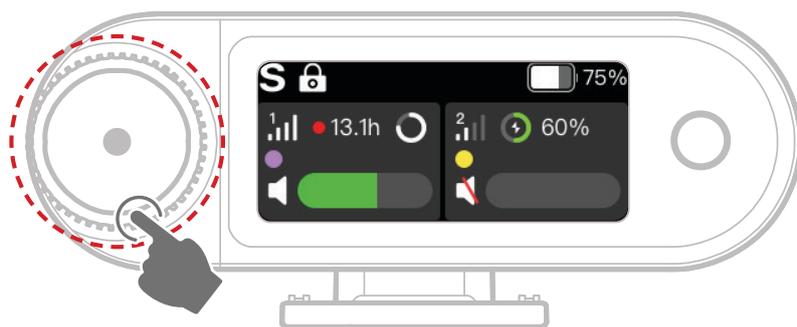
各マイクの録音/ミュート状態を表示します。

カメラ受信機のショートカット機能（4マイク & 1受信機）



1. カメラ受信機にマイクが接続されているときに、タッチスクリーンの赤枠エリアをタップすると、ショートカットメニューが表示されます。
2. ショートカット機能インターフェイスでは、機能が有効になるとアイコンが点灯し、無効である場合はグレーのままになります。コントロールノブでマイク1、マイク2、マイク3、マイク4を切り替えます。

メニュー



コントロールノブを押すとメニューが表示されます。



チャンネルモード



マイク設定



モニタリング



推奨設定



タイムコード



カスタムショートカット機能



設定



チャンネルモード

モノラル

カメラ受信機から、左右両チャンネルに、同じ音声が出力されます。

ステレオ

カメラ受信機が2個の別々の音声トラック（各チャンネルで1個ずつ）を出力します。

セーフティトラック

カメラ受信機が2個の音声トラックを出力します：

左チャンネル：元の音声。

右チャンネル：音声のクリッピングを防止するためゲインが-6dBになります。

（USB-Cポートはセーフティトラックモードに対応していません。これは3.5mm TRS接続のみで使用できます。）

* タイムコードが有効な場合、ステレオモードとセーフティトラックモードには対応しません。



マイク設定



マイクゲイン

ダイナミックゲイン：出力のバランスを維持し、音量低下やクリッピングを防止するため、自動的に、両方のマイクユニットのゲインを調整します。

カスタムゲイン：手動で、マイク1とマイク2のゲインを別々に調整します。



ビット深度

内部録音：

- 内部マイク録音のビット深度を選択します（初期設定：32ビットフロート）。

USB出力：

- カメラ受信機のUSB-C音声インターフェイスは、32ビットフロートまたは24ビットのビット深度に対応しています（初期設定：24ビット）。

1.32ビットフロートはAppleデバイスでのみ対応します。24ビットはあらゆるデバイスと互換性があります。

2.編集ソフトウェアを使用して録音する場合、正確に音声処理されるように、ビット深度を32ビットフロートに設定してください。

3.Appleのネイティブ録音アプリを使用する場合、手動でビット深度を設定する必要はありません。



ノイズキャンセリング

マイクのノイズキャンセリング深度は、5dB～25dBで無段階に調整できます（初期設定：20dB）。



EQ

3つのモード：Hi-Fi、Low Cut、Vocal Boost（初期設定：Hi-Fi）。



ストレージ

カメラ受信機にマイクを接続すると、各マイクの内部録音の残り時間が別々に表示されます。マイクのメモリは、カメラ受信機で個別にフォーマットできます。

（* ストレージが満杯になると、反復録音モードによって、最も古い録音を上書きされます。重要なデータが消失しないように、必ず保存しておいてください。）



マイクのロック

マイクがロックされると、マイクのボタン操作がすべて無効になります。



自動録音

有効にすると、マイクは、電源投入時に自動的に内部録音を開始します（初期設定：オフ）。



自動オフ

マイクが接続されておらず録音されていない場合、15分間操作しないと自動的にマイクの電源が切れます（初期設定：オン）。



マイクの識別

マイク1とマイク2は、状態インジケータライトと、ディスプレイ上の対応するカラーコードマイク情報バーで区別されます。



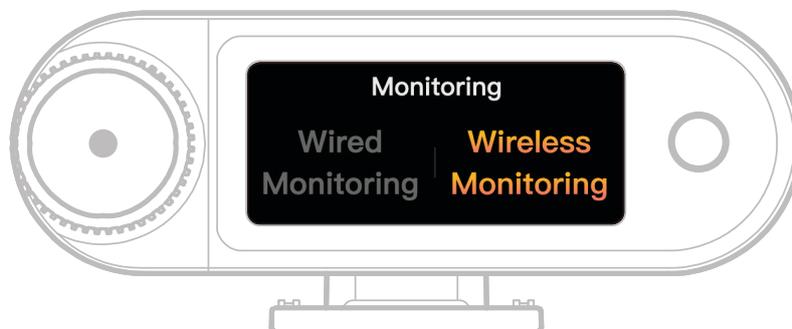
ライトコントロール

マイク状態ライトの輝度を調整します。



モニタリング

モニタリング



有線

3.5mm TRS音声ケーブルで、カメラ受信機モニタリングポートとカメラを接続します。

ワイヤレス



モニタリングソース

ワイヤレスモニタリングの音源として、カメラ受信機またはカメラを選択します。



モニタリング状態

OWSモニターイヤホンのオンとミュートが切り替わります。



モニタリング音量

OWSモニターイヤホンの音量を調整します。（カメラの録音ゲインには影響しません。）



プロンプト音

OWSモニターイヤホンのプロンプト音のオンとオフを切り替えます。



イヤホン接続

工場出荷時の設定では、OWSモニターイヤホンはペアリングされています（OWSイヤホンが付属するSKUにのみ適用される）。



推奨設定

カメラのブランドと機種を選択すると、自動的に、カメラ受信機とOWSモニターイヤホンのゲイン設定が調整されます。カメラ受信機では外部カメラの設定を直接制御することはできません。お使いのカメラ機種の推奨設定に基づいて、手動で、カメラの推奨録音入力レベルとモニタリング音量出力を調整してください。



タイムコード



アイコンの切り替え

タイムコード機能の有効と無効を切り替えます。



タイムコード出力

カメラ受信機は、カメラとモバイルデバイスとパソコンに、タイムコードが出力できます。



タイムコードモード

必要に応じて、適宜タイムコードモードを選択してください。最適な性能を確保するため、モード1をお勧めします。



フレームレート

適切に同期できるように、カメラのビデオフレームレートに一致する録画フレームレートを選択してください。



タイミング方法

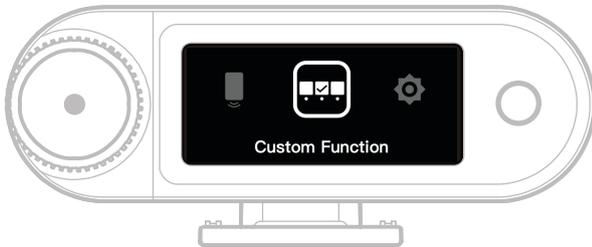
デフォルト：ゼロからカウント。

リアルタイムタイミング：リアルタイムタイミングを有効にするため、アプリに接続して、携帯電話の時計と同期してください。



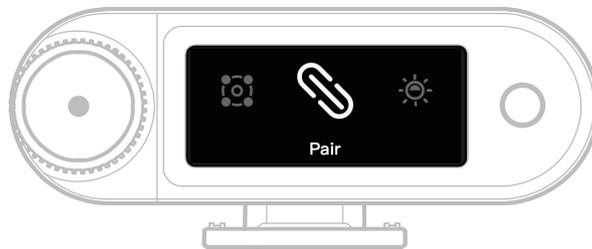
カスタムショートカット機能

カメラ受信機のショートカットのカスタマイズ設定を行います。



設定

カメラ受信機の基本設定を調整します。



4マイク&1受信機

4マイク&1受信機モードを有効または無効にします。頻繁に切り替えしないでください。(注意：このモードではワイヤレスモニタリングは使用できません。)



ペア

カメラ受信機とマイクをペアリングします。



輝度

カメラ受信機のタッチスクリーンの表示輝度を調整します。



電話スピーカー

カメラ受信機が接続されているときに、携帯電話で音声の再生を有効または無効にします。



言語

カメラ受信機のインターフェイス言語を設定します。



リセット

現在のカメラ受信機の設定をすべて削除し、工場出荷時の設定に戻し、デバイスを再起動します。

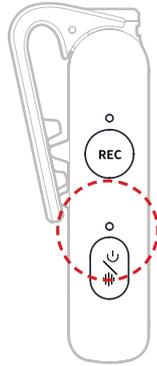


バージョン

マイク、OWSイヤホン、カメラ受信機が接続されていると、マイク、カメラ受信機、充電ケース、OWSモニターイヤホンのシリアル番号（SN）とファームウェアバージョンが表示されます。

バッテリー状態インジケータ

マイクのバッテリー



非充電状態

● —	青いライトが点灯	バッテリー残量 \geq 6%
● —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 \geq 6%
● - -	赤のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 $<$ 6%

充電ステータス

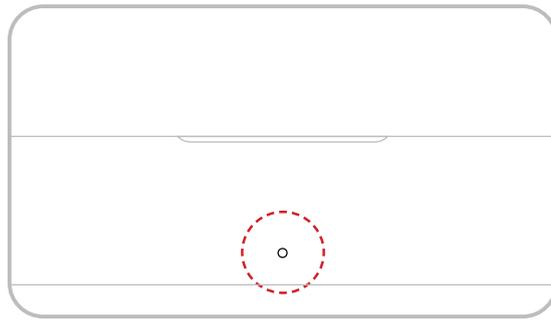
● —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 \geq 95%
● - -	オレンジ色のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 $<$ 94%

バッテリー残量低下警告

カメラ受信機またはマイクのバッテリー残量が低下すると、対応するデバイスのメインインターフェイスに、バッテリー残量低下警告が表示されます。



充電ケースのバッテリー



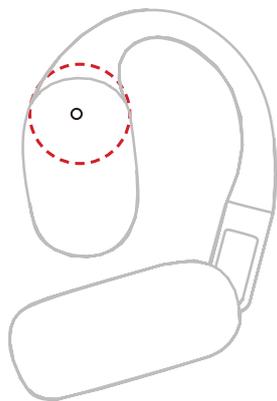
非充電状態

 —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 $\geq 98\%$
 —	白のライトが点灯	$6\% < \text{バッテリー残量} < 98\%$
 —	赤のライトが点灯	$3\% \leq \text{バッテリー残量} \leq 6\%$
 - -	赤のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 $< 3\%$

充電ステータス

 —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 $\geq 99\%$
 - -	オレンジ色のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 $< 98\%$

OWSモニターイヤホンのバッテリー



非充電状態

● —	緑のライトが10秒間点灯	バッテリー残量 \geq 98%
● —	オレンジ色のライトが10秒間点灯	6% < バッテリー残量 < 98%
● —	赤のライトが10秒間点灯	バッテリー残量 \leq 10%

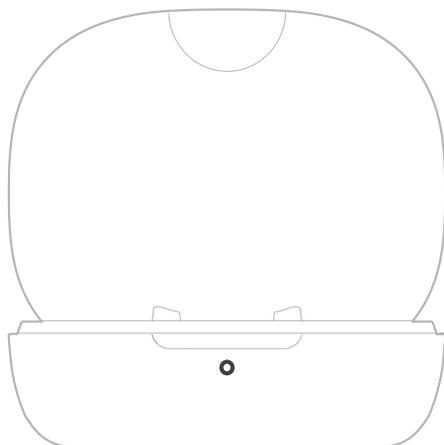
充電ステータス

● —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 \geq 99%
● - -	オレンジ色のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 < 98%

OWSモニターイヤホンのバッテリー

● —	緑のライトが10秒間点灯	バッテリー残量 > 90%
● —	オレンジ色のライトが10秒間点灯	10% < バッテリー残量 \leq 90%
● —	赤のライトが10秒間点灯	バッテリー残量 \leq 10%

イヤホン充電ケースのバッテリー



非充電状態

 —	緑のライトが10秒間点灯	バッテリー残量 $\geq 91\%$
 —	オレンジ色のライトが10秒間点灯	$11\% < \text{バッテリー残量} < 90\%$
 —	赤のライトが10秒間点灯	$5\% < \text{バッテリー残量} < 10\%$
 - -	赤のライトが10秒間ゆっくり点滅	バッテリー残量 $\leq 5\%$

充電ステータス

 —	緑のライトが点灯	バッテリー残量 $\geq 90\%$
 - -	オレンジ色のライトがゆっくり点滅	バッテリー残量 $< 90\%$

ファームウェアのアップグレード

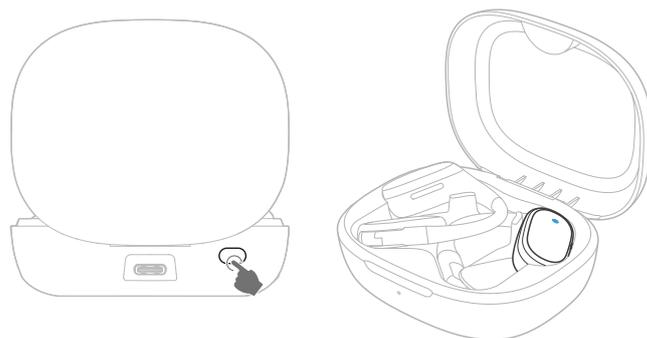
OWSモニターイヤホンのアップグレード

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開きます。
2. イヤホンの状態ライトが青で点滅し、Bluetoothペアリングモードが表示されるまで、充電ケースのボタンを3回短く押します。
3. LarkSoundアプリに接続し、ファームウェアをアップグレードします。

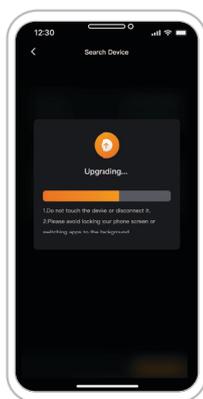
1



2



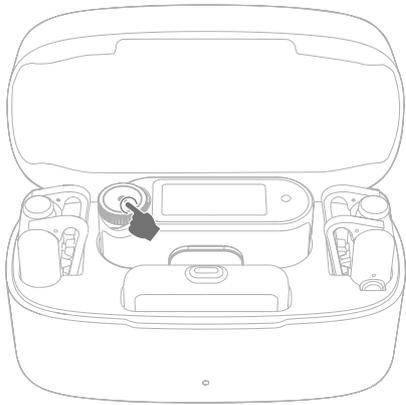
3



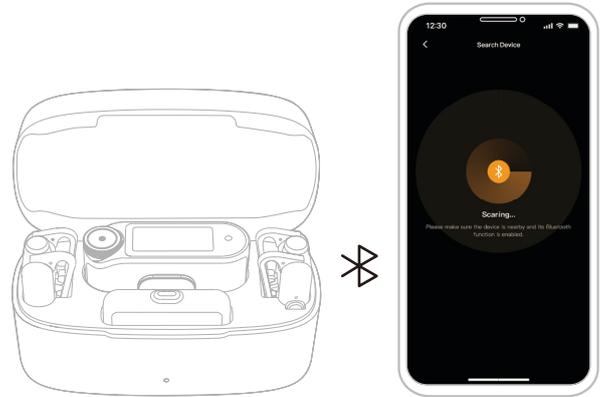
充電ケースのアップグレード

1. 全部のデバイスを充電ケースに入れ、カメラ受信機コントロールノブを長押しして Bluetoothモードを起動します。
2. 携帯電話でBluetoothを起動し、LarkSoundアプリとペアリングします。
3. ペアリングが完了したら、アプリで、ファームウェアのアップグレードに進みます。
4. アップグレードが成功すると、自動的にデバイスが再起動します。
5. アップグレードの実行中は、充電ケースからデバイスを取り出さないでください。

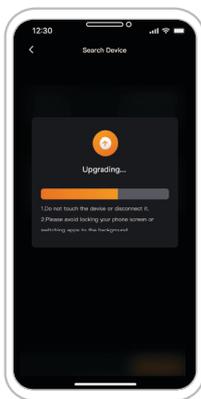
1



2



3



4



カメラ受信機のアップグレード

1. USB-C→USB-CケーブルまたはUSB-C→Lightningケーブルで、携帯電話にカメラ受信機を接続します。
2. LarkSoundアプリを開き、カメラ受信機とマイクのファームウェアのアップグレードに進みます。
3. アップグレードが完了すると、自動的にデバイスが再起動します。

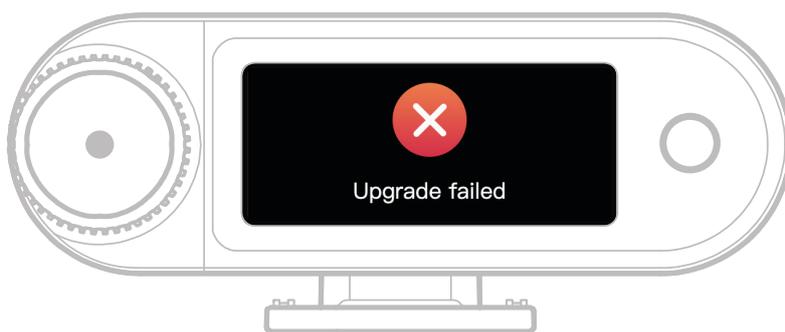


アップグレード中



アップグレード成功

*ファームウェアのアップグレードが失敗すると、カメラ受信機に通知画面が表示され、自動的にデバイスが再起動します。再起動したら、電源を入れ、アップグレードを再試行します。



アップグレード失敗

ファームウェアのアップグレードが失敗すると、通知画面が表示されます。タッチスクリーンをタップするか、戻るボタンを押すと、自動的にデバイスが再起動し、メインインターフェイスに戻ります。

USB-C受信機のアップグレード

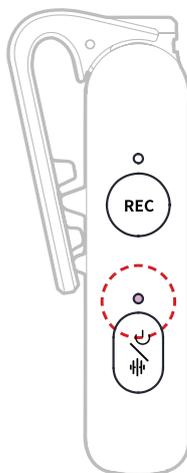
マイクにUSB-C受信機が接続されている場合、LarkSoundアプリでファームウェアをアップグレードすることができます。



アップグレードの状態

● —	ピンクのライトが点灯	マイクのアップグレード待機中
● - -	ピンクのライトがゆっくり点滅	マイクのアップグレード中

マイクのアップグレード状態



マイクのアップグレード状態

● —	ピンクのライトが点灯	マイクのアップグレード待機中
● - -	ピンクのライトがゆっくり点滅	マイクのアップグレード中

仕様

マイク感度	-37 dBV ± 2 dBV@1 kHz, 94dB SPL
ワイヤレス変調モード	GFSK 2 Mbps
無線伝送	2.4GHz適応型周波数ホッピング (AFH)
伝送範囲	マイク：見通し内では340m (1115フィート) / 見通しが利かない状態では60m (197フィート) OWSモニターイヤホン：見通し内では100m (328フィート) / 見通しが利かない状態では60m (197フィート)
マイク極性パターン	無指向性
周波数特性	20 Hz～20 kHz
信号対雑音比	72dB以上
最大音圧レベル	128dB SPL
サンプルレートとビット深度	48 kHz / 32ビットフロートおよび48kHz / 24ビット
バッテリー電圧	マイク：3.87V カメラ受信機：3.87V 充電ケース: 3.8V OWSモニターイヤホン：3.7V イヤホン充電ケース：3.7V
バッテリー容量	マイク：167 mAh カメラ受信機：300 mAh 充電ケース: 2000 mAh OWSモニターイヤホン：90 mAh イヤホン充電ケース：500 mAh
稼働時間	マイク：約11時間 カメラ受信機：約12時間 OWSモニターイヤホン：約18時間
充電サイクル	充電ケース: 2本のマイクとカメラ受信機を、同時に2.5回以上充電 イヤホン充電ケース：2台のOWSモニターイヤホンを、同時に1.8回以上充電
バッテリー充電時間	マイク：約1.5時間 カメラ受信機：約1.5時間 充電ケース: 約2時間 OWSモニターイヤホン：約1.6時間
充電温度	0～45°C
動作温度	-10～55°C

寸法	マイク：約23.4×10.2×45.1mm (0.92インチ×0.40インチ×1.78インチ) カメラ受信機：約54.2×22.3×29.5mm (2.13インチ×0.88インチ×1.16インチ) USB-C受信機：約40.7×9.1×27mm (1.60インチ×0.36インチ×1.06インチ)
重量	マイク：約14g (0.51オンス) カメラ受信機：約24g (0.85オンス) 充電ケース：約136g (4.8オンス) USB-C受信機：約5.9g (0.21オンス)

アプリ情報

LarkSound

LarkSoundアプリは、Xiaomi、Huawei、Apple App Storeからダウンロードできます。下のQRコードをスキャンしても、アプリをダウンロードすることができます。



LarkSoundアプリは、Hollylandワイヤレスマイクに最適なアプリです。マイクとシームレスに連携するこのアプリを使用すると、パラメータの設定やファームウェアのアップデートなど、性能を向上させる種々のスマート機能にアクセスできます。



iOS 12.0以降が必要



Android 8.0以降が必要



アプリ

サポート

製品の使用中に問題が発生したり、サポートが必要な場合は、下記のHollylandサポートチームにご連絡ください：



Hollyland User Group



HollylandTech



HollylandTech



support@hollyland.com



HollylandTech



www.hollyland.com

宣言文：

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. の書面による承認がない限り、いかなる組織または個人も、いかなる形式でも、書面または図解コンテンツの一部または全部をコピーまたは複製したり配布することはできません。

商標に関する宣言文：

すべての商標は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。

注意：本ユーザーマニュアルは、製品のバージョンアップグレードなどの理由により、随時更新されます。本書は、特段の合意がない限り、使用上の手引きとしてのみ提供されるものです。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

HOLLYVIEW

Powered by Hollyland

Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley,
Tangtou Road, Shiyan Street, Baoan District, Shenzhen, 518108, China

Made in China